



#### **Cisco MSE** 仮想アプライアンス 設置 ガイド (**Cisco CMX** リリース **10.2** 向け)

2015 年 9 月

#### **Americas Headquarters**

Cisco Systems, Inc. 170 West Tasman Drive San Jose, CA 95134-1706 USA http://www.cisco.com Tel: 408 526-4000 800 553-NETS (6387) Fax: 408 527-0883 【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety\_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。 リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ デートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合があ りますことをご了承ください。 あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊 社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および 推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製 品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡 ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコ およびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する 保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめと する、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わな いものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、 ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとして も、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

*Cisco MSE 仮想アプライアンス インストール ガイド (Cisco CMX リリース 10.2 向け)* © 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



はじめに v

HAPTER <b>1</b>	Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール 1-1
	仮想化の概念 1-2
	インストレーションの概要 1-2
	Cisco MSE 仮想アプライアンスの導入チェックリスト 1-3
	リリース アップグレードの互換性マトリックス 1-4
	VM アラート 1-5
	Cisco CMX サービスの導入チェックリスト 1-5
	Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール要件 1-6
	ハードウェアに関するガイドライン 1-6
	Cisco MSE OVA ファイルのダウンロード 1-7
	VMware vSphere クライアントを使用した Cisco MSE OVA ファイルの展開 1-7
	Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール 1-10
	Web インターフェイスを使用した Cisco CMX のインストール 1-17
	Cisco CMX 10.2 の今後のリリースへの アップグレード 1-21
	Cisco CMX 10.1.x から 10.2 へのアップグレード 1-25
	Cisco CMX サービスの確認 1-26

**CHAPTER 2** 仮想マシンの設定と管理 2-1

Γ

vSphere クライアントの仮想マシンへのハードディスクの追加 2-1 ネットワークの設定 2-1

■ 目次

I

1



### はじめに

ここでは、このドキュメントの対象読者、構成、および表記法について説明します。また、関連資料の入手方法に関する情報も示します。内容は次のとおりです。

- 対象読者、vページ
- 表記法、vページ
- 関連資料、vi ページ
- マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート、vii ページ



このドキュメントは、Cisco Mobility Services Engine (MSE) 仮想アプライアンスのインストール、 および Cisco Connected Mobile Experiences (CMX) サービスのインストール、設定、保守に携わる、 経験豊富なネットワーク管理者を対象としています。

### 表記法

Γ

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

#### 表 1 表記法

表記法	説明
太字	ユーザが入力したコマンド、キーワード、およびテキストは <b>太字</b> で示して います。
イタリック体	文書のタイトル、新規用語、強調する用語、およびユーザが値を指定する 引数は、イタリック体で示しています。
[オプション]>[オ プション]	一連のオプションを選択するときに使用します。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
$\{x \mid y \mid z\}$	必ずいずれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッ コで囲み、縦棒で区切って示しています。
$[x \mid y \mid z]$	いずれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦 棒で区切って示しています。

#### 表1 表記法(続き)

表記法	説明
string	引用符を付けない一組の文字。stringの前後には引用符を使用しません。 引用符を使用すると、その引用符も含めて string と見なされます。
courier フォ ント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、courier フォントで示し ています。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!\#	コードの先頭に感嘆符(!)またはポンド記号(#)がある場合には、コメント 行であることを示します。



#### \_\_\_ 生)

#### $\mathcal{P}$

ヒント 「問題解決に役立つ情報」です。

「注釈」です。

/!\ 注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されてい ます。

4 警告

安全上の重要事項

A 警告

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。

### 関連資料

Cisco Mobility Services Engine および関連製品についての詳細は、 http://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/mobility-services-engine/tsd-products-support-serieshome.html を参照してください。

Cisco Connected Mobile Experiences (CMX)の詳細については、以下を参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/solutions/enterprise-networks/connected-mobile-experiences/index.html

Cisco CMX コマンドの詳細については、以下を参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/mobility-services-engine/products-command-reference-list.html

Γ

# マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月 更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。ここにはシスコの 新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html

『What's New in Cisco Product Documentation』はRSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することも できます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートして います。





# Cisco MSE 仮想アプライアンスのインス トール

この章では、オープン仮想アプライアンス(OVA)ファイルとして配布される Cisco Mobility Services Engine (MSE) 仮想アプライアンスをインストールして展開する方法について説明します。

Cisco MSE OVA は、1 つ以上の仮想マシン(VM)から構成されるビルド済みのソフトウェア ソ リューションで、1 つのユニットとしてパッケージされ、保守、更新、および管理されます。Cisco MSE は、仮想アプライアンスには OVA として配布され、物理アプライアンスにソフトウェアを インストールする場合には ISO として配布されます。

Cisco MSE は、Cisco Connected Mobile Experiences (CMS) サービスを導入して実行するためのプ ラットフォーム(物理または仮想 Cisco MSE アプライアンス)として機能します。Cisco MSE 仮想 アプライアンスをインストールする際は、Cisco Location サービスまたは Presence Analytics サー ビスのどちらをインストールするかを選択できます。

(注)

Cisco CMX リリース 10.2 では、同じ CMX インスタンスで Location サービスと Presence Analytics サービスの両方を実行することはできません。

インストール時に Location を選択すると、Cisco CMX GUI に次のサービスが表示されます。

- DETECT & LOCATE: トライアル期間として 120 日間使用できます(CMX 基本/拡張ライセンスを追加しない場合)。
- ANALYTICS: トライアル期間として 120 日間使用できます(CMX 拡張ライセンスを追加しない場合)。
- CONNECT & ENGAGE: トライアル期間として 120 日間使用できます(CMX 基本ライセンス を追加しない場合)。

インストール時に Presence を選択すると、Cisco CMX GUI に次のサービスが表示されます。

- PRESENCE ANALYTICS
- CONNECT & ENGAGE

この章の内容は、次のとおりです。

- 仮想化の概念(1-2ページ)
- インストレーションの概要(1-2ページ)
- Cisco MSE 仮想アプライアンスの導入チェックリスト(1-3 ページ)
- リリース アップグレードの互換性マトリックス(1-4 ページ)
- Cisco CMX サービスの導入チェックリスト(1-5 ページ)

- Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール要件(1-6 ページ)
- ハードウェアに関するガイドライン(1-6ページ)
- Cisco MSE OVA ファイルのダウンロード(1-7 ページ)
- VMware vSphere クライアントを使用した Cisco MSE OVA ファイルの展開(1-7 ページ)
- Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール(1-10 ページ)
- Cisco CMX 10.2 の今後のリリースへの アップグレード(1-21 ページ)
- Cisco CMX 10.1.x から 10.2 へのアップグレード(1-25 ページ)
- Cisco CMX サービスの確認(1-26 ページ)

### 仮想化の概念

仮想化の詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- http://www.vmware.com/pdf/virtualization.pdf
- http://pubs.vmware.com/vsphere-55/index.jsp#com.vmware.vsphere.vcenterhost.doc/GUID-ED375B 12-7D08-4B7E-81EE-DCE83E51B1AF.html
- http://pubs.vmware.com/vsphere-55/index.jsp#com.vmware.vsphere.install.doc/GUID-41638619-B1 4E-4074-BB90-DACAA1440C1C.html?resultof=%2522%2545%2553%2558%2569%2522%2520 %2522%2565%2573%2578%2569%2522%2520

### インストレーションの概要

次の表に、Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール プロセスを示します。

表 1-1 インストレーションの概要

タスク		参照先
1.	導入チェックリストを確認 し、Cisco MSE 仮想アプラ イアンスをインストールす るための準備をします。	「Cisco MSE 仮想アプライアンスの導入チェックリスト」 セクション(1-3 ページ)および「ハードウェアに関するガ イドライン」セクション(1-6 ページ)
2.	Cisco MSE Open Virtualization Archive (OVA)ファイルを Cisco.com からダウンロー ドします。	「Cisco MSE OVA ファイルのダウンロード」セクション (1-7 ページ)
3.	Cisco MSE OVA ファイル を展開します。	「VMware vSphere クライアントを使用した Cisco MSE OVA ファイルの展開」セクション(1-7 ページ)
4.	基本設定を行って、Cisco MSE 仮想アプライアンス をインストールします。	「Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール」セク ション(1-10 ページ)
5.	Cisco MSE 仮想アプライ アンスをセットアップし ます。	「Web インターフェイスを使用した Cisco CMX のインス トール」セクション(1-17 ページ)

<u>》</u> (注)

10.1 展開を 10.2 にアップグレードする場合は、「Cisco CMX 10.1.x から 10.2 へのアップ グレード」セクション(1-25 ページ)を参照してください。

#### Cisco MSE 仮想アプライアンスの導入チェックリスト

Cisco MSE 仮想アプライアンスを導入する前に、次のチェックリストを確認します。

- Cisco Wireless LAN Controller (WLC) 7.0 以降が使用されていること。
- Cisco WLC の Simple Network Management Protocol (SNMP) クレデンシャル(V1 および V2 の 場合は秘密キー、V3 の場合はユーザ名とパスワード)。
- Cisco WLC から Cisco CMX 10.2 インスタンスへの IP 接続が可能なこと。
- Cisco WLC から Cisco CMX 10.2 の IP アドレスにポート 16113 でルーティング可能であること。
- ポート 161 の SNMP トラフィックを Cisco WLC から Cisco CMX 10.2 の IP アドレスにルー ティング可能であること。
- Cisco Prime Infrastructure 1.4 以降。
- Cisco WLC と Cisco Prime Infrastructure 1.4 以降が同期されること。
- Cisco Prime Infrastructure 内のマップのサイズが 5 MB 未満であること。
- 単一のマップでのアクセス ポイント数が 1000 未満であること。
- Cisco Prime Infrastructure でのマップの階層が、キャンパス、ビルディング、ゾーンの順になっていること。
- 次の機能は、Cisco CMX 10.2 では使用できません。
  - ワイヤレス侵入防御システム(wIPS)
  - モバイル アプリケーション サーバ
- VMware 仮想環境 ESXi 5.5 以降。
- Cisco CMX 10.2 が、次のブラウザでテスト済みであること。
  - Google Chrome 40 以降

I

- 新しい仮想マシン(VM)の IP アドレス、ネットマスク、デフォルト ゲートウェイ、DNS IP アドレス、Network Time Protocol(NTP)サーバ IP アドレスが決まっていること。
- Cisco CMX インスタンスを実行するマシンへの IP 接続が可能なこと。
- VM にルート アクセス権限でログインするための SSH クライアント。
- Cisco MSE OVA にファイル(特に、アップグレードするためのマップ ファイルおよびイメージ)を移動するために使用するセキュア コピー(SCP)クライアント(MAC ネイティブのクラ イアント、または PC にインストールされたクライアント)あるいは Secure File Transfer Protocol(SFTP)
- Cisco WLC に表示される時刻は、常に Cisco MSE の時刻より進んでいます。時刻を確認するには、共通 NTP サーバを使用します。
- Cisco CMX 10.2 にはメール通知システムが備わっています。SMTP メール サーバ名および認 証メカニズムを使用します。
- Cisco CMX 10.2 は、Cisco Prime Infrastructure のマップにデータをレンダリングしません。 Cisco Prime Infrastructure 1.4 以降のクライアント表示を可能にするには、パラレル Cisco MSE 8.0 も必要です。

# リリース アップグレードの互換性マトリックス

次の表に、Cisco.com で入手できる Cisco CMX リリースを示します

表 1-2 Cisco.com で入手できる Cisco CMX リリース

Cisco CMX リリース	OVA	3365 ISO	アップグレード オプションのみ
10.1.0	cmx-v10-1-0.ova		—
10.1.1		10.1.1	—
10.1.1-2			cisco_cmx-10.1.1-2.tar.gz (cisco_cmx-10.1.1-2.x86_64.rpm および cisco_cmx_connect-10.1.1-30.x86_64.rpm)
10.1.2			cisco_cmx-10.1.1-2.tar.gz
10.2	10.2 OVA	10.2 ISO	10.2 バックエンド アップグレード(10.1 および 10.1.1 から 10.2 へのアップグレー ド) スクリプトおよび .CMX イメージ ファイル

次の表に、リリースごとにサポートされるノードタイプを示します。

表 1-3 リリースごとにサポートされるノードタイプ

リリース	ロケーションおよび分 析ノード	ロケーションおよび接 続ノード	ロケーション、分析、およ び接続ノード(Lノード)	接続およびプレゼン ス ノード( <b>P</b> ノード)
10.1.0	Yes	—	—	—
10.1.1-2	Yes	Yes	Yes	—
10.1.2	Yes	Yes	Yes	—
10.2	アップグレード スクリ プトを使用して、ロケー ションおよび分析ノー ドをロケーション、分 析、および接続ノードに 内部で変更します。	アップグレード スクリ プトを使用して、ロケー ションおよび接続ノー ドをロケーション、分 析、および接続ノードに 内部で変更します。	Yes	Yes

次の表に、ノードタイプ別のアップグレードオプションを示します。

表 1-4 ノードタイプ別のアップグレードパス

アップグレー	ロケーションおよび接	ロケーションおよび分	ロケーション、分析、およ	接続およびプレゼン
ド パス <sup>1</sup>	続ノード	析ノード	び接続ノード(Lノード)	ス ノード( <b>P</b> ノード)
10.1.0 OVA から 10.2	イメージを 10.2 にアッ プグレードし、ロケー ションおよび接続ノー ドをロケーション、接 続、および分析ノードに 変更する 10.2 バックエ ンド スクリプト。	イメージを 10.2 にアッ プグレードし、ロケー ションおよび分析ノー ドをロケーション、接 続、および分析ノードに 変更する 10.2 バックエ ンド スクリプト。	イメージを 10.2 に アップグレードする 10.2 バックエンド ス クリプト。	

アップグレー ド パス <sup>1</sup>	ロケーションおよび接 続ノード	ロケーションおよび分 析ノード	ロケーション、分析、およ び接続ノード(Lノード)	接続およびプレゼン ス ノード( <b>P</b> ノード)
10.1.1-2 tar.gz から 10.2	イメージを 10.2 にアッ プグレードし、ロケー ションおよび接続ノー ドをロケーション、接 続、および分析ノードに 変更する 10.2 バックエ ンド スクリプト。	イメージを 10.2 にアッ プグレードし、ロケー ションおよび分析ノー ドをロケーション、接 続、および分析ノードに 変更する 10.2 バックエ ンド スクリプト。	イメージを 10.2 にアップ グレードする 10.2 バック エンド スクリプト。	
10.1.2 tar.gz か ら 10.2	イメージを 10.2 にアッ プグレードし、ロケー ションおよび接続ノー ドをロケーション、接 続、および分析ノードに 変更する 10.2 バックエ ンド スクリプト。	イメージを 10.2 にアッ プグレードし、ロケー ションおよび分析ノー ドをロケーション、接 続、および分析ノードに 変更する 10.2 バックエ ンド スクリプト。	イメージを 10.2 にアップ グレードする 10.2 バック エンド スクリプト。	
10.2 OVA/ISO から 10.2			イメージをアップグ レードする UI アップグ レード スクリプト。	イメージをアップ グレードする UI アップグレード ス クリプト。

表 1-4 ノード タイプ別のアップグレード パス(続き)

1. アップグレード用に用意されるパスは、バックアップおよび復元に使用されるパスと同じです。

#### VMアラート

Γ

次の表に、それぞれの条件に対して VM に表示されるアラートを示します。

#### 表 1-5 VM に表示されるアラート

ハードディスクの状態	表示されるアラート
50%	バックアップできません (Do Not Back Up)
80 %	システムのスペースがなくなりつつあります(System Is About To Run Out Of Space)
85%	すべてのサービスが停止されています(All The Services Are Stopped)

### Cisco CMX サービスの導入チェックリスト

• Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール時に、Cisco MSE 仮想アプライアンスで実行 する Cisco CMX サービスを選択します。

# Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール要件

- VMware ESXi ホスト サーバ(表 1-4を参照)。
- vSphere クライアント。
- www.cisco.com/go/mse から入手した Cisco MSE 10.2 OVA。
- 新しい VM のホスト名、IP アドレス、ネットワーク マスク、ゲートウェイ、および DNS IP ア ドレス。
- NTP サーバ名または IP アドレス。
- Cisco Prime Infrastructure からエクスポートした既存のマップファイル。
- シスコ ワイヤレス コントローラの IP アドレス、コントローラのタイプ、コントローラの IP アドレス、SNMP バージョン、および SNMP write コミュニティ ストリング。
- メールサーバ設定(ポート番号、セキュリティ設定)および電子メールアドレス。

### ハードウェアに関するガイドライン

次の表に、Cisco MSE 仮想アプライアンスのハードウェアに関するガイドラインを示します。



OVA 導入の際にハードウェア要件が満たされていないと、OVA は起動できません。同様に、イン ストール時に最小要件が満たされていない場合、Cisco CMX のセットアップが失敗します。

#### 表 1-6 ハードウェアに関するガイドライン

ハードウェア プラット フォーム	デモアプライアンス	基本アプライアンス	標準アプライアンス	ハイエンドアプラ イアンス
CPU	4 vCPU	8 vCPU(2.4 GHz コア)\ 4 基の物理コア	16 vCPU(2.4 GHz コア)\ 8 基の物理コア	20 vCPU(2.4 GHz コア)\ 10 基の物理 コア
RAM	16 GB	24 GB	48 GB	64 GB <sup>1</sup>
HDD	—	500 GB	500 GB	1 TB

1. ハイエンド展開の VM (20 vCPU、64 GB の RAM) では、64 GB の RAM が予約されます。ただし、使用できるのは 63.74 GB だけで、残りの RAM は ESXi によって使用されます。



- Cisco CMX 10.2 は、.ISO イメージを使用して現在リリース 8.0 を実行中の Cisco MSE 3365 に インストールできます。
  - .ISO イメージは、DVD に入れることも、CIMX を使用して仮想ドライブとしてマウントする こともできます。
  - Cisco CMX 10.2 ソフトウェアを新規 vMSE に導入するには、VMware vSphere クライアント を使用して、CCO に用意されている .ova ファイルを展開します。

## Cisco MSE OVA ファイルのダウンロード

Cisco MSE 仮想アプライアンスは、OVA ファイルとして配布されます。 Cisco MSE OVA ファイルをダウンロードするには、次の手順に従います。

- ステップ 1 https://software.cisco.com/download/navigator.html?mdfid=282152561&i=rm から Cisco MSE イメージにアクセスします。
- ステップ 2 [Mobility Services Engine Virtual Appliance] をクリックします。
- ステップ3 [Latest] > [10.2] を選択してダウンロードします。
- ステップ 4 Cisco MSE OVA インストーラをコンピュータに保存し、アクセスできることを確認します。

# VMware vSphere クライアントを使用した Cisco MSE OVA ファイルの展開



ſ

Cisco MSE OVA を展開する前に、「Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール要件」セクション(1-6 ページ)を参照してください。

VMware vSphere クライアントを使用して Cisco MSE OVA ファイルを展開するには、次の手順に 従います。

- ステップ1 次の場所から Cisco MSE OVA ファイルをダウンロードします。 https://software.cisco.com/download/navigator.html?mdfid=282152561&i=rm.
- ステップ2 デスクトップ上の VMware vSphere クライアント アプリケーションを使用して、OVA ファイル を展開します。

🗵 1-1	VMware vSphere Client
-------	-----------------------

ncs-lab-vcenter - vSphere Client	e de la companya de l						_ # ×
le Edit View Inventory Administr	tration Plug-ins Help						
🖸 🚺 🛕 Home 🕽 🛃 İn	nventory D 🔠 Hosts and Clusters					3- Search Inventory	٩
t at at							
B hor 2Lab	142.0.0.101 VMware ES0, 5.5.0, 1746010						
C C TolleMigrated	Getting Started Summary Virtual Machines Desource Alocation (Fe	formance Configuration Tasks	& Events ( Alarms ( Permissions ( Maps )	Scrage Vews Hardware Status			
B UCS 2005FFM2s	What is a Host?		close tao (k)				
B C UCS 210M2s		Conclass OVE Template					
E 142.0.0.180	as ESX or ESX. to run virtual machines. Hosts provide the	Enunce					
cmic-ng01	CPU and memory resources that virtual machines use and	Select the source location.	-		I		
(8) 142.0.0.181	give virtual machines access to storage and network						
142.0.0.182	connectantly.						
B 005 250M2s		Source OVF Template Details					
	Basic Tasks	Name and Location					
E UCS 420M3s	At Deploy from VA Marketplace	Disk Format Ready to Complete					
Development Cluster			Deploy from a file or URL				
<ul> <li>B 172.19.27.132 (deconn</li> <li>Nortech</li> </ul>	6 Greate a new virtual machine		Cluberd Administrator Download	(onuing over	Browse		
			Enter a URL to download and insta	I the OVF package from the Interne	ea De		
			specify a location accessible from	your computer, such as a local hard	drive, a		
		I					
		Help		< Back	Vent > Cancel		
2	1						¥.
cent Tasks						Name, Target or Status contains: •	Cear ×
ane	Target Status	Details	Initiated by Requested Start Time	< ⊂   Sat Time	Completed Time		
Rename virtual machine	On completed		root 1/31/2015 4:05:00 PM	1/31/2015 4:05:08 PM	1/31/2015 4:05:10 PM		
Tasks 🖉 Alams							toos

vSphere クライアントを使用して OVA ファイルを展開した後、[Deploy OVF Template] ウィンド ウが表示されます。

ステップ 3 作成する Cisco MSE VM の名前を入力します。



図 1-2 Cisco MSE VM の名前

ステップ 4 [Configuration] ドロップダウン リストから、VM の設定を選択します。

Γ

10.104.177.82 - VSphere Clie	ent	ier Hele	4400000		50 1
The Edit view inventory i	Noministration Plug	ins nep			
	a swenzy , Gi	Deploy OVF Template		00	
6 6		Deskument for the state			
10.104.177.82 Cisco CMX pi22Doc	localhost.lo Getting Sta	Select a deployment configur	ration.		
	What is A host is as ESY d	Source Olf Template Details End User License Accement	Configuration:		
	CPU and	Deployment Configuration	Low-end		
	give virtu	Disk Format Network Mapping	The resources consumed by this configuration are:		
	You can	Ready to Complete	8 vCPUs. 8000 Mhz will be reserved. 24GB Memory. 24GB will be reserved.		
	one or b				
	The eas				
	virtual at machine				
	installed				
	system i				
	Basic Ta				
	😚 Mar				
	8t Cre				
cent Tasks	1				et or Status contains: • Clear
ame i	Target			÷.	
		< >			
			< Back	Next > Cancel	Protocia Made 20 days consistent for

図 1-3 VM の設定

**ステップ 5** [Power on the virtual machine] をクリックして、VM の電源をオンにします。

🗷 1-4	仮想マシンの電源オン	~						
🖉 nca lab-vorster - viphere Clent								<b>10</b> X
	ventory a PBI roots and Gusters					19	Te Search Inventory	9
	5 B B B B B							
Control (Control (Contro) (Control (Contro) (Control (Contro) (Contro) (Contro) (Contro)	<ul> <li>Control of the control /li></ul>	12 ours Aussi Consta Current Aussi Consta Current Aussi Splace Further Current North East Learn North East	Version Version Version Version Version Version Ve Version Version Ver	Clarage House, Cherry Mar S House T Mar S Ag System				
د ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	1							<u></u>
Recent Tasks	Tand Sala	Detab	bilidethy	Revented Stat Time	- Out See	Consisted Time	Name, Target or Status contains: •	Cea ×
feconfigure virtual nachine     Deploy OVF template	() Consisted () Consisted () Consisted	Cerae	root root	1/31/2015 4 22:21 PM 1/31/2015 4 34:50 PM	1/01/2015 + 22-22 PM 1/01/2015 + 14 50 PM	1/31/2015 4:22:25 PM 1/31/2015 4:20:56 PM		0000
Taka 🔮 Alame								joot

#### Cisco MSE 仮想アプライアンスのインストール

Cisco MSE OVA ファイルを展開した後、Cisco MSE の基本設定を行ってインストールし、起動します。

- リリース 10.2 には、ノードのインストール メニューがありません。代わりに、コンピュータ 内の構成の有無をチェックする、新しい初期起動スクリプトが追加されています。有効な構 成が見つからない場合、インストールのセットアップ ルーチンが開始されます。このルーチ ンで、CLI からネットワーク構成タスクを実行した後、ブラウザを使用して初期セットアッ プタスクを完了します。
- 新しく追加されたこの初期起動スクリプトは、初期構成が完了しているかどうかを判断します。完了してない場合、デフォルトのログインを求めるプロンプトを出します。初期構成が完 了している場合は、通常のログインを求めるプロンプトを出します。
- 初期ログインでは、ルートユーザと新規 cmxadmin ユーザの両方のパスワードを設定する必要があります。

(注)

**cmxctl node install** コマンドは無効になりました。

Cisco MSE 仮想アプライアンスをインストールして構成するには、次の手順に従います。

ステップ1 vSphere クライアントにログインし、ログイン クレデンシャルを入力してインストールを開始します。

-----

CentOS release 6.6 (Final) Kernal 2.6.32-504.e16.x86\_64 on an x86\_64

localhost login: cmxadmin password: cisco Last login: Sun May 15 19:31:03 from 10.0.2.2





インストールが開始されます。

ステップ2 Enter キーを押して、次に進みます。

Γ





ルートユーザの新しいパスワードを入力し、再入力して確認します。パスワードは、ウィンドウ ステップ 3 に表示されている最小要件を満たす必要があります。ルートパスワードが使用されるのは、ルー トオペレーティングシステム構成のみです。cmxadmin機能には使用されません。

*******		*****	*****		*******	*****	*****	*******
Checking	if the ma	chine mee	ets require	d s	pecification	*****		
•	+					+		-+
Check	; ::+::::::	expecte	ed :		actual		Kesult	:
memory	1 8GB			10	GB	!	•	1
l cpu	14			12		1	1	1
disk	1 50GB			36	8GB	+	•	-+
+				1		+		-

ステップ 4 cmxadmin の新規パスワードを入力し、再入力して確認します。パスワードは、画面に表示されて いる最小要件を満たす必要があります。cmxadmin のパスワードは、将来ネットワーク管理者を 構成するために Cisco CMX アカウントにログインする際に使用します。



1

**ステップ 5** [Device Configuration] をクリックします。



ステップ 6 [<New Device>] をクリックします。

eth0 (eth0) -	- Select A De	evice	gigabit	
<new device=""></new>				
Save	<b>1</b>	Cance 1		

**ステップ 7** [Ethernet] をクリックします。

図 1-11	ネットワーク設定					
		Network Configuration Which device type do you want to add? Pthernet Modem ISDN Add Cancel				
<tab>/&lt;</tab>	Alt-Tab> between	elements   <space> selects</space>	1	<f12> next</f12>	screen	354123

ステップ8 ホスト名、デバイス名、IPアドレス、ネットワークマスク、およびゲートウェイを入力し、[OK] を クリックします。

(注)

Γ

- コマンドラインを使用したホスト名の変更はサポートされていません。ホスト名または IP アドレス、あるいはネットワークパラメータのいずれかを変更するには、cmxos reconfigure コマンドを使用してください。
  - DNS の詳細は入力しないでください。ここで DNS サーバ情報を入力しても、システムはその情報を使用しません。これらの詳細は、DNS の設定メニューで入力する必要があります。
  - DNS の詳細については、ステップ 10 を参照してください。

Ø	1-12	ネッ	トワー	ク設定の	の詳細
---	------	----	-----	------	-----

Netwo	ork Configuration
Name Device Use DHCP Static IP Netmask Default gateway Primary DNS Ser Secondary DNS S	cth8 metwork 1 ] 9.12.72.88 255.255.255.9 912.72.1 Server Cancel
<tab>/<alt-tab> between element:</alt-tab></tab>	s   <space> selects   <f12> next screen</f12></space>

ステップ 9 [DNS Configuration] をクリックします。



🗷 1-13	DNS の設定	
		Device configuration DNS configuration
		Save&Quit Quit
<tab>/</tab>	<alt-tab> between the twee the twee the twee twee twee tw</alt-tab>	n elements   <space> selects   <f12> next screen</f12></space>

ステップ 10 [Hostname]、[DNS]、および [DNS search path] デフォルト ドメインに値を入力します。

図 1-14	DNS 設定の詳細
	DNS by Covernment Hostname Primary DNS Secondary DNS DNS search path Ok Cancel
<tab>/</tab>	<alt-tab> between elements i <space> selects i <f12> next screen</f12></space></alt-tab>

ステップ 11 [Save&Quit] をクリックします。

図 1-15 アクションの選択	
-----------------	--

Select Action Device configuration DNS configuration Save&Quit Quit					
<tab>/<alt-tab> between elements { <space> select:</space></alt-tab></tab>	s i	<f12></f12>	next	screen	354114

ステップ 12 NTP サーバ名または IP アドレスを入力します。セットアップ機能により十分な計算リソースが 使用可能であるかどうかが検証され、NTP の詳細の他、NTP サーバまたはシステム時刻の設定を 求めるプロンプトが出されます。NTP 設定をスキップするとしても、NTP サーバを使用すること を強く推奨します。

(注)

Γ

NTP サーバに到達不能な場合は、インストール時にサーバ アドレスとして 127.0.0.1 を使用して ください。



ステップ 13 タイム ゾーンを設定し、変更内容を保存します。



(注) タイム ゾーン情報が検証されると、オペレーティング システムの設定は完了しますが、 Cisco CMX サービスのインストールはまだ完了していません。

🗵 1-17 Time Zone

Peter management 474 78 460 480
Later nameserver: 1/1,70,100,103
configuring htp
Checking for stri
The statement is not configured
nle se enter the ntn cenuer name:: 172 19 28 258
undating nucleon fig
Configuring Timezone and date
Please identify a location so that time zone rules can be set correctly.
Please select a continent or ocean.
1) Africa
2) Americas
3) Antarctica
4) Arctic Ocean
5) Asia
6) Atlantic Ocean
7) Australia
8) Europe
9) Indian Ocean
18) Pacific Ocean
11) none - I want to specify the time zone using the Posix TZ format.
#? _

ステップ 14 セットアップの最後に、管理者 URL(たとえば、https://CMX10.2\_IP:1984)に移動するよう求めら れます。詳細なセットアップについて詳しくは、詳細については、「Web インターフェイスを使用 した Cisco CMX のインストール」セクション(1-17 ページ)を参照してください。

#### Web インターフェイスを使用した Cisco CMX のインストール

Web インターフェイスを使用して Cisco CMX をインストールするには、次の手順に従います。

ステップ1 Cisco CMX Web インターフェイスで、ログイン クレデンシャル(Cisco CMX の管理者クレデン シャル)を入力し、[Sign In] を押して先に進みます。

(注) 使用可能な唯一のログインは、システムの初期電源投入時にパスワードを設定した cmxadmin のみです。Cisco CMX Web インターフェイスに初めてアクセスするために必要 な VM IP の詳細については、Cisco MSE のインストール管理者にお問い合わせください。

図 1-18 Cisco CMX Web インターフェイス

и]и]и <sub>ОМХ</sub> сіsco 102.0-6	vta 382		
Ξ			
	Welco	me to the Cisco Mobility Services Insta	llation
		cmxadmin	
		Password	
		Sign in	
		Please Login using your cmxadmin credentials	
		© 2015 Cisco Systems, Inc.	

- **ステップ 2** Cisco CMX のタイプとして、[Location] または [Presence] のいずれかを選択します。 [Location] を選択すると、Cisco CMX GUI に次のサービスが表示されます。
  - DETECT & LOCATE
  - ANALYTICS
  - CONNECT & ENGAGE
  - MANAGE
  - SYSTEM

[Presence] を選択すると、Cisco CMX GUI に次のサービスが表示されます。

- PRESENCE ANALYTICS
- CONNECT & ENGAGE
- MANAGE
- SYSTEM

ſ

354135

🗷 1-19	Cisco CM)	(タイプ	の選択									
CISCO 102.0-beta.3	982											
Ξ												
			Welcon	ne to the	Cisco Mol	bility Se	rvices l	nstallatio	n			
	•	Node Type	0	Services	3 Con	fguration	0	Startup	6	Finish	1	
			0			3						
			Location		Prese	nce						
												~
												54110
					© 2015 Cisco 5	lystems, Inc.						ĕ

#### <u>》</u> (注)

Cisco CMX サービスがすでにインストールされている場合、ログイン プロセスでは Cisco CMX サービスのアップグレード オプションが表示されます。

- **ステップ3** インストールが開始され、すべてのサービスが開始されるまでには数分かかります。 イベントの順序は次のとおりです。
  - 1. Consulの設定
  - 2. DB のインストール
  - 3. スキーマの移行
  - 4. InfluxDBの設定
  - 5. Cassandra のインストール
  - 6. ノードの登録

		Welco	me to the C	isco	Mobility S	ervices In	stallation			
0	Node Type	2	Services	3	Configuration	6	Startup	6	Finish	
						Status	Console			
			Consul Confd Database Cache_6378 Cache_6379 Cache_6380			Cassandra Cassandra Haproxy Configuratio Iodocs Analytics	'n			
			Cache_6381 Cache_6382 Celesspyworker			Location     Matlabengir     Nmsplb     Connect     Halo	ve			
			ARE		34%					
			Con	figurin	ig Qlesspywo	orker				

ステップ4 サービスが開始された後、青色のテキスト([Please click to continue setup])をクリックするか、 Enter キーを押して、メイン ポータルに進みます。

図 1-21 インストール完了

出力でモニタできます。

ſ

)	Node Type	2	Services	23	Configuration	> •	Startup	> 5	Finish
						State	us Console		
			<ul> <li>Consul</li> <li>Confd</li> <li>Database</li> <li>Cache_6378</li> <li>Cache_6379</li> <li>Cache_6380</li> <li>Cache_6381</li> <li>Cache_6382</li> <li>Qlesspyworke</li> <li>Influxdb</li> </ul>	r	80%	Cassandra Metrics P Haproxy Configura Configura I docs Analytics Cocation Matlaben Mustaben Mustaben Connect P Hyperlocat	tion gine		
			Ple The main available start the	ase clici n Cisco Mo although ase service	k to continue obility Services Us some services ha is using the CLI. [	setup ser Interface ms ve not started. Nmsplb]	iy be Please		

1

インストールが完了すると、Cisco CMX のウェルカム ウィンドウが表示されます。ウェルカム ウィンドウが表示されるのは、再インストールした場合のみです。初めてインストールした場合 には表示されません。初めてのインストールが完了した後は、ユーザは直接 Cisco CMX にログイ ンされるので、ユーザ クレデンシャルを入力する必要はありません。

ステップ5 ユーザ名とパスワード(admin と admin)を入力してログインします。

🗷 1-22	Cisco CMX のウェルカム ページ	
uluilu cisco	CMX 10.2.0-beta.663	
	Welcome to CMX	
	admin	
	Sign in	
	© 2015 Cisco Systems, Inc.	

- ステップ6 インストールが完了すると、セットアップアシスタントによって GUI 設定ウィンドウが表示されます。このウィンドウを使用して、マップ、コントローラ、メール サーバを設定できます。詳細 については、「Configuring the GUI」の項を参照してください。
  - <u>》</u> (注)

Cisco CMX 10.2では、CLI ではなく Web ユーザインターフェイスを使用して Cisco CMX の初期設定を行うようになっています。セットアップ アシスタントは、管理者ユーザのパスワードの設定、Cisco Prime Infrastructure からのコントローラとマップのインポート、およびメール サーバの設定とテストが必要となる初期設定を実行するために使用します。

(注)

https:// <ip-address>:1984 は初期設定にのみ使用されるため、初期設定以降に Web ユーザイン ターフェイスにログインする際には、https://<ip address> を使用してください。 図 1-23

セットアップ アシスタント

diala av	0	æ	00	*		<u>.</u>	
SETUP ASSISTANT							*
S) Introduction S) Set New Passwor Maps and Control Mail Server Done!	d Please proceed through	this setup assi	stant to get you	r system up and runnin	9.		
C		Active	I inactive	_	Cancel	Next	

### Cisco CMX 10.2 の今後のリリースへの アップグレード

Cisco CMX Web インターフェイスを使用して、Cisco CMX 10.2 を今後のリリースにアップグレードできます。

(注)

Web インターフェイスによるアップグレードは、Cisco CMX の 10.2 から今後のリリースへの アップグレードにのみ適用できます(10.2.0 から 10.2.1 や 10.3 へのアップグレードなど)。10.1.x から 10.2.0 にアップグレードする場合、Web インターフェイスを使用することはできません。

ſ

(注) Cisco CMX 10.1 から 10.2 に、または 10.2 から今後のリリースにアップグレードした後は、ブラ ウザのキャッシュをクリアしてから、Cisco CMX Connect UI を起動してください。キャッシュを クリアしていないと、ポータルがアップグレードされず、Cisco CMX Connect 機能が正常に機能 しません。

Web インターフェイスを使用して Cisco CMX をアップグレードするには、次の手順に従います。

- ステップ1 Cisco CMX Web インターフェイスにログインします。
- **ステップ 2** [SYSTEM] > [Dashboard] を選択します。 [System at a Glance] ウィンドウが表示されます。
- ステップ3 [System at a Glance] ウィンドウの右上隅にある歯車アイコンをクリックします。 [SETTINGS] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [SETTINGS] ウィンドウの左ペインで、[Upgrade] をクリックします。

General			
Node Details	Upgrade		
Tracking	Name:	CMX	
Filtering	Current Version:	10.2.0-beta.475	
Location Setup	Build Date:	06-26-2015	
Mail Server	Upgrade:	Upgrade	
Controllers and Maps Setup			
Upgrade			
			4133
			35

#### 図 1-24 Cisco CMX のアップグレード

ステップ 5 Cisco CMX の管理者パスワードを入力して [Sign In] をクリックします。

図 1-25 ログイ	インクレデンシャル		
CISCO 10.2.0-beta.475			
≡			
	Welco	me to the Cisco Mobility S	ervices Installation
		cmxadmin	*
			*
		Sign in	
		Please Login using your cmxadm	in credentials
		© 2015 Cisco Systems, Inc.	

ステップ 6 [Local File] または [Remote File] のいずれかをクリックします。

Γ

1 Upload	Welco CMX Files	me to the C 3 Stop Services	isco N	Services Service	Upgrade	6	Finish
				-			
				Remote File			

**I** 26 Upgrade Options **∅** 

- ステップ1 どちらのオプションを選択したかに応じて、次のいずれかのウィンドウが表示されます。
  - a. [Local File] オプションを選択した場合は、[Browse] をクリックしてローカルの Cisco CMX ファイルを選択します。この.cmx ファイルを選択するには、Web ユーザインターフェイス にアクセスしているマシン上にこのファイルが存在する必要があります。

Vveice	ome to the C	isco N	Nobility S	Services Upgra	ide	Contra
1 Opload CMX Piles	2 Stop Services	0	Upgrade	4 Service Startup	•	Pinon
				🕞 Browse		
	Please s	select yo	our local CI	/IX file.		

図 1-27 ローカルの Cisco CMX ファイルの選択

b. [Remote File] オプションを選択した場合は、インストール ファイルの URL を入力します。

🗷 1-28	IJ	モートの0	Cisco C	MX ファイ	ルの選	択					
CISCO 10.2.0-16											
≡											
			Weld	come to the	e Cisco	Mobility	Services U	pgrade			
	0	Upload CMX File	2	Stop Services	3	Upgrade	4 Ser	vice Startup	5	Finish	
			http://172	2.19.35.253/CMXI	mages/CISC	O_CMX-10.2.0	-167.cmx	Upload			
						0%	1				
				Please enter	the URL	of your remo	te CMX file.				
										Back	54127
											36

- **ステップ 8** [Upload] をクリックします。
- ステップ9 ファイルが完全にアップロードされた後で、アップグレードプロセスが開始されます。

	Welcome to the Cisco Mobility Services Upgrade										
0	Upload CMX File	2	Stop Services	3	Upgrade	6	Service Startup	5	Finish		
						S	tatus Console				
			<ul> <li>✓ Consul</li> <li>✓ Confd</li> <li>Database</li> <li>Cache_6378</li> <li>Cache_6379</li> <li>Cache_6380</li> <li>Cache_6381</li> <li>Cache_6382</li> <li>✓ Qlesspyworke</li> <li>Influxdb</li> </ul>	r		<ul> <li>Cassar</li> <li>Metrics</li> <li>Haprox</li> <li>Config</li> <li>Iodocs</li> <li>Analyti</li> <li>Locatio</li> <li>Matlab</li> <li>Mmspl</li> <li>Conne</li> <li>Hyperic</li> </ul>	ndra s y uration is ics n engine b b set set sect ocation				
				Stopping	21% Configurat	ion					

ステップ 10 アップグレードが完了すると、次のウィンドウが表示されます。青色のテキスト([Please click to return to your upgraded experience])をクリックして Cisco CMX のウェルカム ページに移動し、 ユーザ名とパスワード(admin と admin)を入力してログインします。

Vercome to the Cisco Mobility Services Upgrade									
		<ul> <li>✓ Consul</li> <li>✓ Confd</li> <li>Database</li> <li>Cache_6378</li> <li>Cache_6380</li> <li>Cache_6381</li> <li>Cache_6381</li> <li>Cache_6382</li> <li>✓ Qlesspyworkd</li> <li>Influxdb</li> </ul>	ər		Status Consol Cassandra O Metrics P Haproxy Configuration Configuration Configuration Configuration Configuration Consol	e			
		Please click to	roturn to	100%					

#### Cisco CMX 10.1.x から 10.2 へのアップグレード

Cisco CMX 10.1 から Cisco CMX 10.2 にアップグレードするには、ヘルパー スクリプトと.cmx ファイルを使用します。

アップグレードを実行するには、次の手順を実行します。

- ステップ1 CCOから、.cmx ファイルとヘルパースクリプトを.zip ファイルとしてダウンロードします。
- ステップ2 ダウンロードされたファイルを解凍します。
- ステップ 3 SSH または CIMC KVM を使用して Cisco CMX CLI に接続します。
- ステップ4 ルートディレクトリに移動します(cd/)。

ſ

- **ステップ 5** スクリプトと .cmx ファイルを格納するフォルダを作成します。 mkdir upgrade
- **ステップ 6** 新しく作成されたアップグレード ディレクトリに移動します。 cd /upgrade

ステップ 7 Secure Copy Protocol を使用して、cmx\_upgrade.sh スクリプトとこれに関連する.cmx ファイルの 両方を、既存の 10.1 インストール済み環境のアップグレード フォルダに転送します。

scp username@hostname\_or\_IP:/Users/username/Downloads/<CISCO\_CMX\$\$\$.cmx> .

(注) コマンドの末尾には、必ずスペースとピリオドを入力してください。

- ステップ 8 スクリプトと.cmx ファイルの両方を、ルート ユーザとして実行できることを確認します。 chmod +x cmx\_upgrade.sh chmod +x <CISCO\_CMX\$\$\$.cmx>
- **ステップ 9** CLI プロンプトに対して以下のコマンドを入力し、アップグレード スクリプトを実行します。 ./cmx\_upgrade.sh <CISCO\_CMX\$\$\$.cmx>

#### Cisco CMX サービスの確認

Cisco CMX 10.2 ユーザインターフェイスの [System] タブを使用して、Cisco CMX サービスのステータスを含め、システム全体の正常性を確認します。

[System] タブには、次の4つのサブタブがあります。

- [Dashboard]:システム全体の概要が示されます。
- [Alerts]: ライブ アラートを確認できます。
- [Patterns]:各種基準(クライアント数、CPU 使用率、メモリ使用率など)のパターンを検出で きます。
- [Metrics]:システムのメトリックを確認できます。

[System] タブの [Dashboard] で、各 Cisco MSE/CMX ノードのサービス、メモリ、CPU のすべてが 正常な状態(緑色)であり、ノードごとに少なくとも1つの Cisco WLC がアクティブになってい ることを確認します。



# 仮想マシンの設定と管理

この章の内容は、次のとおりです。

- vSphere クライアントの仮想マシンへのハード ディスクの追加(2-1 ページ)
- ネットワークの設定(2-1ページ)

#### **vSphere** クライアントの仮想マシンへのハードディスク の追加

仮想マシン(VM)にハードディスクを追加する際に、新しい仮想ディスクを作成したり、既存の 仮想ディスクを追加したり、マッピングされたストレージェリア ネットワーク(SAN)論理ユ ニット番号(LUN)を追加したりすることができます。

ほとんどの場合、デフォルトのデバイスノードを受け入れることができます。ハードディスク については、ブート順序を制御するのにも、異なるタイプの Small Computer System Interface (SCSI) コントローラを使用するのにも、非デフォルトのデバイスノードが実用的です。たとえ ば、LSI Logic コントローラから起動し、バス共有を有効にして Buslogic コントローラを使用し て、他の VM とデータ ディスクを共有する方法があります。

詳細については、「*vSphere Client での、仮想マシンへのハードディスクの追加*」を参照してください。

#### ネットワークの設定

ſ

デフォルトでは、VM はホスト ネットワークの設定を使用します。そのため、VM アダプタを ESXi で設定する必要はありません。パブリックとプライベートの両方のネットワークがホスト に接続され、VM からこれらの両方のネットワークにアクセスする場合、vSphere クライアント で VM アダプタを設定する必要があります。

詳細については、「*vSphere Web Client でのホスト マシンのネットワークの構成*」を参照してくだ さい。

